

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

公文書館（内線：8164）

1 4 目 公文書館費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
新鳥取県史編さん事業	34,219	25,614	8,605			<財産収入> 1,425 <譲収入> 42	32,752	
トータルコスト	84,241千円（前年度76,981千円） [正職員：6.2人 非常勤職員：4.0人]							
主な業務内容	歴史・民俗資料の調査研究、史料解説、県史編さん委員会・専門部会の開催、資料集・県史ブックレットの執筆・編集・刊行、シンポジウム等普及事業の実施等							
工程表の政策目標(指標)	県史資料編の刊行（全22巻のうち、22年度末までに4巻刊行予定） 県史ブックレットの刊行（全29冊のうち、22年度末までに9冊刊行予定）							

事業内容の説明

1 事業の概要

(1) 目的

鳥取県が歩んできた歴史を明らかにし、郷土に対する県民の理解と愛着を深めるとともに、貴重な歴史的資料を県民共有の財産として後世に伝え、さらには歴史に関わる人材を育成することにより地域文化に活力を与える。

(2) 概要

旧「鳥取県史」（昭和38～56年度編さん・刊行）後の発見や研究の進展のあった事項及び旧県史で十分取り上げられなかった事項の調査研究等

2 主な事業内容

(1) 県史編さん委員会及び各専門部会の開催（889千円）

(2) 資料調査等の実施（30,898千円）【拡充】

専門部会	主な調査内容
考古部会	県内未報告出土物の整理、墳丘測量調査等
古代中世部会	既刊資料集からの県関係史料の抽出、県外所在中世文書調査等
近世部会	主要文書現地調査、史料解説（家老日記等）等
近代部会	資料編の校訂・編集、民間史料調査等
現代部会	聞き取り調査、戦前期文献資料調査等
民俗部会	地域民俗調査、民具調査、テーマ別（両墓制等）調査等

(3) 鳥取県史ブックレットの刊行（1,904千円）

鳥取県の歴史等に関する小冊子の刊行（古代中世編、現代編、民俗編）

(4) 普及事業の実施（528千円）

○鳥取県史シンポジウムの開催（西部地区を予定）

○県史編さん協力員（ボランティア）の運営

3 これまでの取り組み状況、改善点

(1) 各時代・分野ごとに課題を設定して資料調査等に取り組んだ。事業の成果は資料編やブックレットの刊行・頒布や関連するシンポジウムの開催等を通じて県民に紹介するとともに、県民参画の観点から調査協力員（ボランティア）との連携を図った。

・資料編： [指標]計4巻の刊行→[現状]指標通り4巻を刊行

・ブックレット： [指標]計7冊の刊行→[現状]6冊を刊行（残1冊は来年度当初刊行予定）

(2) 21年度に考古学担当の専門員が1名配置され、これまで立ち遅れていた考古分野事業の進展がみられた。